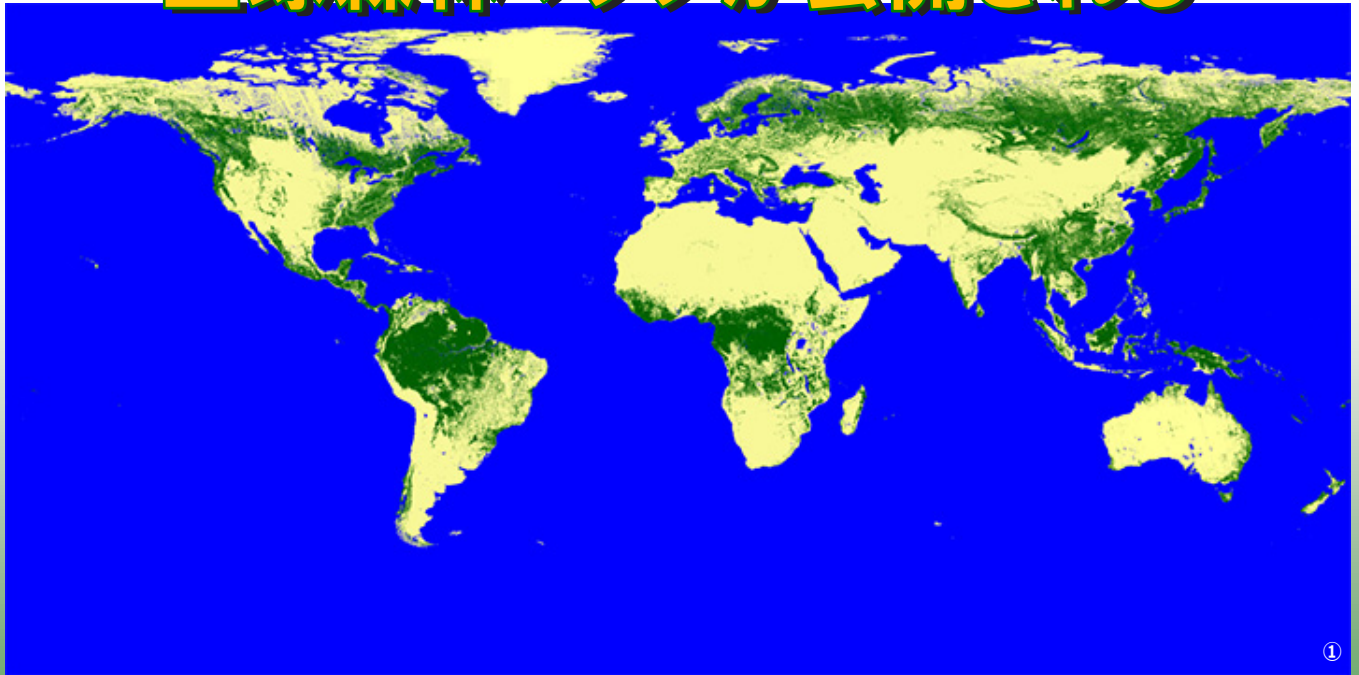


「だいち2号」の観測データを用いた 全球森林マップが公開される



このたび公開された全球森林マップ。昨年、パリで開催された COP21 において掲げられた温暖化抑制の目標を達成するためには、CO₂ の重要な吸収源である森林を地球規模で把握・保全することが欠かせない

国際協力機構 (JICA) と協力して今後構築される「森林変化検出システム」でもデータが使用される予定

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、2014年に打ち上げた「だいち2号」を用いて開発された分解能25mの全球森林マップを無償で公開しました。

今回公開されたマップは「だいち2号」に搭載されているLバンド合成開口レーダ (PALSAR-2) の観測データを使って作成されたもので、隣り合う観測画像をつなぎ合わせ、全世界でつなぎ目の無い1枚の画像にしたものです。

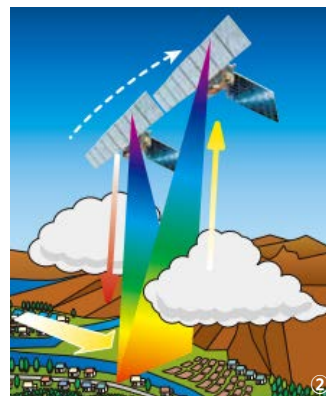
「だいち2号」などの人工衛星による地球観測は、全世界をくまなく定期的に観測できるため、世界中の森林の減少や劣化をタイムリーに捉えるのに適しています。

全球森林マップは、各国の政府機関等によりどの地域を重点的に監視・保全していくかといった森林保全計画に利用されることが考えられます。「だいち2号」による全球森林マップは今後年1回の頻度で提供される予定です。

地形の変化を電波で見る

「だいち2号」に搭載されている PALSAR-2 は、観測センサ自体からマイクロ波 (電波) を発射し、反射したマイクロ波の様子を観測する。

PALSAR-2 は、森林の有無や森林の利用状況などを観測するのに適した長い波長 (約 24cm) の電波を用いており、天候や昼夜によらず観測ができるため、1年の多くが曇りでおおわれてしまう熱帯での森林観測に適している。



「だいち」と「だいち2号」の PALSAR-2 を用いたボルネオ島の平成 22 年から平成 27 年間の森林面積の比較。いたるところで森林が減っていることがわかる。(平成 22 年から森林面積が 8% 以上も減少していることが判明)

さらに詳しく知りたい方はこちら

ALOS-2・ALOS
ALOS 解析研究プロジェクト EORC, JAXA

全球 25m 分解能 PALSAR-2/PALSAR
モザイクおよび森林・非森林マップ

http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/palsar_fnf/fnf_jindex.htm

Spacei 宇宙かわら版 2016年2月9日号

※「Spacei」は JAXA と JSF の共同事業です

問い合わせ先: Spacei 事務局 (一般財団法人日本宇宙フォーラム内)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。画像の出典: ①~③JAXA

Spacei